## 令和5年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる					
政策	410 災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる						
施策	413	413 地域で連携し、犯罪抑止力・対応力を高める					
施策の目標	区民と区F れ、すべてC	内事業者が連携した地域の力でさまざまな防犯対策に取り組むことにより、犯罪が未然に抑止さ の人が安全で安心な暮らしをしています。					

#### 1 基本計画における成果指標の状況

	2 CHANCILLIM AN MAIO									
指標名	体感治安	体感治安について肯定的評価をした区民の割合								
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	18.4				22.0					26.0
実績	18.4				27.7					
指標名	刑法犯の認知件数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	3,370				3,200					2,800
実績	3,370	2,848	2,630	2,363	1,896	1,817	1,953			

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業	費推移(千円)
私道防犯灯で主に使用されている蛍光灯が、水俣条約により生産が減少し、補充が難なることから、令和3年度に対象となる私道防犯灯1.450基をリース方式によりLED化した	R2	20,101
今後は、私道防犯灯リースの対象とならなかった防犯灯について、設置助成の対象となる ように改修するよう働きかけていく。	R3	9,819
また、町会等による安定的な管理のため、実情に合わせた電気料金助成額について検討していく必要がある。	R4	16,132

## 3 施策の評価及び判断理由

評价	西	理由
В	)	水俣条約の規制による蛍光灯等の生産減少への対処、町会等の負担及び区の財政負担軽減を図るため、令和3年度に対象となる防犯灯1,450基をリース方式によりLED化した。 令和4年度は、電気料金の高騰に伴い、助成額を改定するとともに、LED以外の防犯灯について助成額を抑制し、町会に対してLED化を促すこととした。

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性					
	(1) 優先的に資源投入を図る。					
	(2) 現状維持とする。					
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。					
	(4) 資源投入の縮小を図る。					
▼ ト=コの 半川地口田	8 th 1					

#### 【上記の判断理由】

私道防犯灯は、夜間の交通安全及び犯罪防止に寄与するものであることから、リースしているLED防犯灯の適正な管理、防犯灯管理費及び私道防犯灯設置費に対して助成することを継続して取り組んでいく必要がある。

## 【今後の具体的な方針】

LED防犯灯のリース業者、防犯灯管理団体及び区が連携し、私道防犯灯を維持管理していく。

## 5 この施策に係る事務事業(重要度・貢献度順)

		歳出		带 出	目的に対する指標	直近の評価内容
番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 総 額 (千円)	年度目標値	評価結果
		(十円)	(113)	(十円)	年度実績値	評価対象年度
1	私道防犯灯助成事業費	16,132	10,999	27,131	2,030	現状維持
'	位。 位 位 位 位 位 位 位 位 位 后 的 后 一 后 一 后 一 后 一 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 一 后 一 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 后 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	10,132	10,999	27,131	1,330	令和4年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

# 令和5年度 事務事業評価シート

施		策	413 地域で連携し、犯罪抑止力・対応力を高める 部内優先順位							
事	 業	名	私道防犯灯助成事業費							
目			私道防犯灯リースによるLED化及び私道防犯灯の設置又は改修に対する助成により、夜間の交通安全及び犯罪防止に寄与し、すべての人が安全で安心に暮せるまちづ都市整備課庶務・細街路担当(りに資する。							
対	象	者	私道防犯灯を設置·管理する町会·自治会 私道を通行する車両·歩行者(区民及び来街者)	•						
	拠 法 連 計		墨田区私道整備助成条例·同施行規則 墨田区防犯灯補助金交付要綱							
実	施基	準	区独自基準 実施方法 直営 人員体制・委託先 常勤:	会計年度任用職員1						
事	業内		私道整備助成条例・同施行規則に基づき、防犯灯工事をする者に助成する。 防犯灯補助金交付要綱に基づき、防犯灯の管理費の一部を助成する。 「水銀に関する水俣条約」の規制による蛍光灯等の生産減少への対処、町会等の負 るため、未LED化の防犯灯をLED灯に取り替える「私道防犯灯LED化促進事業」を令和、 犯灯1,450基をLED化した。							
			開始年度 昭和43年度 終了予定							
経		過	・防犯灯工事助成 昭和54年度から、防犯灯設置の助成が始まり、その後、助成率改定や要綱の緩和が 現在の助成率は80~100% 過去3年間の実績 [令和2年度] 91基(新設13基、取替78基) [令和3年度] 14基(新設6基、取替8基) [令和4年度] 7基(新設5基、取替2基)	されている。						
			・内別は月日珪真的成 令和2年度に灯具別の月当たり助成額を定め、灯具種別ごとその設置月数で補助する は電気料金の高騰に伴い、助成額を改定するとともに、LED以外の防犯灯について助成 過去3年間の実績 [令和2年度] 131団体 7,587,500円 [令和3年度] 131団体 7,415,225円 [令和4年度] 130団体 6,296,820円							
議の			[平成30年2定] 区道街路灯はLED化されるが、区道に挟まれた私道との照度の差に [平成30年決特] 私道防犯灯のリース方式によるLED化促進について [令和4年決特] 電気料金の高騰による補助の拡充について	こういて						
そ 特	の 記事	他項	特になし							

予算・決算	算額推移 ( 単位:千円 )	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
予算	現額 (事業費)	21,644	26,700	22,000	10,310	16,353	17,205
A.決算額 (	(令和5年度は見込み)	21,238	26,315	20,101	9,819	16,132	17,205
	国						
財源	都						
	その他						
	一般財源	21,238	26,315	20,101	9,819	16,132	17,205
	執行率(%)	98.1%	98.6%	91.4%	95.2%	98.6%	100.0%
	B.人コスト		15,728	13,262	20,376	10,999	
総事	総事業決算額(A+B)		42,043	33,363	30,195	27,131	
予算書P(令和5年度) P209 1-5(1)~(3)			執行実績執	B告書P(令和	日4年度)	P15	1-5

予算・決算の内訳(単位:千円)								
令和	]3年度(決	算)	令和	和4年度(決算	草)	令和5年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品購入	4	使用料及び賃借料	私道防犯灯リース	8,561	使用料及び賃借料	私道防犯灯リース	8,211
役務費	郵券購入	20	負担金補助及び交付金	整備費助成等	7,792	負担金補助及び交付金	整備費助成等	8,994
使用料及び賃借料	私道防犯灯リース	684						
負担金補助及び交付金	整備費助成等	9,111						
							·	

	指標	私道防犯灯の	LED化率(町会	単位	%		
手 段 に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
対する指標	98	R7	目標	10	15	20	25
(活動指標)	90	K/	実績	8	12	17	26
(/白勁行行宗)		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	30	96	97	97	98	98
	実績	31	96	96			

## 指標の選定理由及び目標値の理由

事 業 の 成 果 環境対策及び維持経費抑制の進捗の確認ができる、町会・自治会所有の防犯灯具のLED化率を目標値とした。

₹		指標	犯罪件数(非例	曼入窃盗)		_	単位	件
	目 的に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
	対する指標	1,925	R7	目標	2,244	2,205	2,170	2,135
	(成果指標)	1,925		実績	2,244	1,935	1,818	1,659
(	, 风未161条)		R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,100	2,065	2,030	1,995	1,960	1,925
		実績	1,230	1,196	1,330			

## 指標の選定理由及び目標値の理由

防犯灯の管理を地域で行うことにより、区民の防犯意識や夜間の通行環境が向上し、「すり」や「ひったくり」などの非侵入窃盗が減少する効果が期待されるため。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	私道防犯灯は、夜間の交通安全及び犯罪防止に寄与するものであることから、リースしているLED防犯灯の適正な管理、防犯灯管理費及び私道防犯灯設置費に対して助成することを継続していく。

## 課題・問題点

私道防犯灯リースの対象とならなかった防犯灯について、設置助成の対象となるように改修するよう働きかけていくなど、LED化を促進していく必要がある。

補名	助	金 称	本/ i 白 K E 2   J N   HT)					
根	拠法	令	墨田区私道整備助成条例·同施行規則 墨田区防犯灯補助金交付要綱 都市整備課庶務·細街路:					
補	助概	要	公共性の高い私道に設ける防犯灯の工事費及び管理費の一部に助成金を交付する。 03-5608-6292					
目		的	私道防犯灯リースによるLED化及び私道防犯灯の設置又は改修に対する助成により、夜間の交通安全及び犯罪防止に寄与し、 すべての人が安全で安心に暮せるまちづくりに資する。					
対		象	私道防犯灯を設置・管理する町会・自治会 私道を通行する車両・歩行者(区民及び来街者)					
基		準	区独自基準					
補	助条	:件	防犯灯工事助成要件 1 両端が公道に接している私道で、幅員が1.2m以上のもの 2 一端が公道又は主要な私道に接している私道で、幅員が1.2m以上でかつ延長15m以上のもの 3 学校、公園等の公共施設に接している私道で、区長が適当と認める区間のもの 4 全各号に準ずると区長が認める私道 防犯灯管理費助成要件(下記要件の全てに適合すること。ただし、個人が自己の目的のため設置したものは対象外) 1 私道又は私有地に設置していること 2 道路に直接照明が行われていること 3 町会等が電気料金を支払っていること					
			開始年度 昭和43年度 終了予定					
経		・防犯灯工事助成 昭和54年度から、防犯灯設置の助成が始まり、その後、助成率改定や要綱の緩和がされている。 現在の助成率は80~100% 過去3年間の実績 [令和2年度] 91基(新設13基、取替78基) [令和3年度] 14基(新設6基、取替8基) [令和4年度] 7基(新設5基、取替2基) ・防犯灯管理費助成 令和2年度に灯具別の月当たり助成額を定め、灯具種別ごとその設置月数で補助することに改めた。令和4年度には電気料3 高騰に伴い、助成額を改定するとともに、LED以外の防犯灯について助成額を抑制した。 過去3年間の実績 [令和2年度] 131団体 7,587,500円 [令和3年度] 131団体 7,415,225円 [令和4年度] 131団体 6,296,820円						
			[平成30年2定] 区道街路灯はLED化されるが、区道に挟まれた私道との照度の差について [平成30年決特] 私道防犯灯のリース方式によるLED化促進について					
の	状	況	[令和4年決特] 電気料金の高騰による補助の拡充について					
そ 特	の 記事		特になし					

3	予算・決算額推移(千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(事業費)	21,644	26,700	22,000	10,310	16,353	17,205
決算額(令和5年度は見込み)		21,238	26,315	20,101	9,819	16,132	17,205
	国						
財源	都						
	その他						
	一般財源	21,238	26,315	20,101	9,819	16,132	17,205
	執行率(%)	98.1%	98.6%	91.4%	95.2%	98.6%	100.0%

		指標	私道防犯灯のLED化率(町会・自治会所有)				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		98	R7	目標	10	15	20	25
	手 段 に	90	K/	実績	8	12	17	26
	対する指標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	(活動指標)	目標	30	96	97	97	98	98
		実績	31	96	96			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
補助金の		環境対策及び維持経費抑制の進捗の確認ができる、灯具のLED化率を目標値とした。						
成果		指標	犯罪件数(非例	是入窃盗)			単位	件
成果		指標	犯罪件数(非例)	曼入窃盗)	基準年(H28)	H29	単 位 H30	件 R1
成果		最終目標値	目標年度	是入窃盗) 目標	基準年(H28) 2,244	H29 2,205		
成果	目的に						H30	R1
成果		最終目標値 1,925	目標年度	目標	2,244	2,205	H30 2,170	R1 2,135
成果	目的に	最終目標値 1,925 目標	目標年度 R7	目標実績	2,244 2,244	2,205 1,935	H30 2,170 1,818	R1 2,135 1,659
成果	目 的 に 対する指標	最終目標値 1,925 目標 実績	目標年度 R7 R2 2,100 1,230	目標 実績 R3	2,244 2,244 R4	2,205 1,935 R5	H30 2,170 1,818 R6	R1 2,135 1,659 R7
成果	目 的 に 対する指標	最終目標値 1,925 目標	目標年度 R7 R2 2,100 1,230	目標 実績 R3 2,065	2,244 2,244 R4 2,030	2,205 1,935 R5	H30 2,170 1,818 R6	R1 2,135 1,659 R7

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
	私道防犯灯は、夜間の交通安全及び犯罪防止に寄与するものであることから、リースしているLED防犯灯の適正な管理、防犯灯管理費及び私道防犯灯設置費に対して助成することを継続していく。

## 課題・問題点

私道防犯灯リースの対象とならなかった防犯灯について、設置助成の対象となるように改修するよう働きかけていくなど、LED化を促進していく必要がある。